演習 II

科目ナンバリング　SEM-302
必修　　2単位

江本　伸哉

1. 授業の概要（ねらい）

春期の「演習Ｉ」の続きです。秋期は『池上彰のやさしい経済学2　ニュースがわかる』（日本経済新聞出版社）について、各章を2つに分けて、ゼミ生がグループワークによって分担して要点と疑問点を報告してもらった後、私が解説していきます。池上さんは難しい経済・政治・国際・社会問題を分かりやすく解説する第一人者で、日本経済についても、よくご存知です。この本をしっかり読みこなし、ゼミで発表することによって、日本経済の基礎をひととおり理解します。同時に、社会に出てから必ず必要になる読解力、調査能力、プレゼンテーション能力を高めます。今後の各自の研究テーマを探すヒントも提供します。ゼミで感じた疑問、意見、感想、要望などは毎回ミニッツペーパー（MP）に書いて提出してください。次回のゼミで「MP通信」にまとめてお答えします。

2. 授業の到達目標

①教科書2冊を1年かけてじっくり深く読み通す根気を身につける。
②日本経済についての基礎的な知識を理解し、他の人に説明できるようになる。
③教科書の要約（レジュメ）を作成し、疑問点を調べて分かったことをパワーポイントで発表できるようになる。
④自分なりの問題意識をもち、調べたこと、分かったことをレポートの形で論理的ににまとられるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

①教科書2冊を1年かけてじっくり、深く読み通す根気を身につける。
②日本経済についての基礎的な知識を理解し、他の人に説明できるようになる。
③教科書の要約（レジュメ）を作成し、疑問点を調べて分かったことをパワーポイントで発表できるようになる。
④自分なりの問題意識をもち、調べたこと、分かったことをレポートの形で論理的ににまとられるようになる。

4. 教科書・参考文献

教科書
池上彰　池上彰のやさしい経済学2　ニュースがわかる　日本経済新聞出版社
参考文献
藤井彰夫　日本経済入門　日本経済新聞出版社
塚崎公義　一番わかりやすい日本経済入門　河出書房新社
日経ビジネス　日本経済入門　日経BP社

5. 準備学修の内容

①ゼミが始まる前に教科書をいちど読み通してください。分からないことがあっても構いません。ゼミで質問して下さい。ゼミで毎回提出してもらうミニッツペーパー（MP）に書いてもらっても構いません。
②日本経済は生き物です。そのリアルな動きをつかむために、『日本経済新聞』（紙の新聞でも電子版でも構いません）を毎日読む習慣をつけることを強くお勧めします。スマホでも図書館でも読めます。

6. その他履修上の注意事項

①ゼミは毎回出席が原則です。出席が3分の2（10回）未満の場合は単位を与えられません。
②公欠の場合は1か月以内に届けを出しましょう。
③私語、授業に無関係なスマホ操作は禁止です。

7. 授業内容

【第1回】　夏休みの宿題（教科書1の第7章後半の「感想文」）の発表
【第2回】　教科書第1章「インフレとデフレーー合成の誤謬」前半（P7～33）
【第3回】　教科書第1章「インフレとデフレーー合成の誤謬」後半（P34～56）
【第4回】　教科書第2章「政府か日銀かーー財政政策と金融政策」前半（P57～77）
【第5回】　教科書第2章「政府か日銀かーー財政政策と金融政策」後半（P78～92）
【第6回】　教科書第3章「バブルへGO！――なぜバブルが生まれ、はじけたか？」前半（P93～119）
【第7回】　教科書第3章「バブルへGO！――なぜバブルが生まれ、はじけたか？」後半（P119～136）
【第8回】　教科書第4章「円高と産業空洞化ーー日本に残るか海外に出るか」前半（P137～161）
【第9回】　教科書第4章「円高と産業空洞化ーー日本に残るか海外に出るか」後半（P162～186）
【第10回】　教科書第5章「円高と産業空洞化ーー日本に残るか海外に出るか」前半（P187～210）
【第11回】　教科書第5章「円高と産業空洞化ーー日本に残るか海外に出るか」後半（P210～232）
＝期末レポート出題
【第12回】　教科書第6章「リーマン・ショックとは何だったのか？」前半（P233～257）
【第13回】　教科書第6章「リーマン・ショックとは何だったのか？」後半（P257～280）
【第14回】　教科書第7章「日本はどうして豊かになれたのか？ーー戦後日本経済史」前半（P281～302）
【第15回】　教科書第7章「日本はどうして豊かになれたのか？ーー戦後日本経済史」後半（P302～322）
＝期末レポート提出締切